

都市近郊で楽しめる北海道らしい フットパスの街・恵庭



小川 浩一郎 (おがわ こういちろう)
 (株)ジオ (THE-O) 代表取締役

1980年札幌市生まれ。2001年エコ・ネットワーク代表代行、13年北海道科学大学客員准教授。札幌市南区常盤で育つ。『フットパス』をキーワードに市内、道内、国内で普及活動、ウォークイベントを実施し、ワールドウォーカーとして世界の「フットパス」を歩いている。「歩く」ことを通じて自然あふれる都市・札幌を観光客へ伝えるべく奮闘中。著書に「北海道フットパスガイド①」「北海道フットパスガイド②」。

恵まれた庭の5つのフットパスコース

北海道最大の都市・札幌と北海道の玄関口・千歳の間にある恵庭市。近年ではガーデニングの街として全国的にも知られています。歩いていると季節の草花に彩られた美しい庭を見ることができ、まさに名前のとおり「恵」まれた「庭」が数多く点在しています。心安らぐ河川風景があり、農業や酪農の田園風景も楽しめます。

ここ恵庭では「えにわフットパス愛好会」がさまざまな活動でフットパスを盛り上げています。実は活動は北海道内でも古くから行われており、1999年から恵庭市民がフットパス団体（えにわフットパス愛好会）を設定し、マップを作り、市内外のフットパス愛好家と歩くことを楽しんできました。現在は5つのルートが整備されており、マップやコースサインなどを頼りに恵庭の魅力を存分に活かしたフットパスを楽しむことができます。年に複数回のフットパスイベントも開催しており、地元の魅力を知った同会のガイドにより、自然のみならず歴史や文化などにも触れる機会もあります。それでは5つのコースをひとつずつ紹介してみましょう。

【花のまち『恵み野』・^{いせり}漁川コース】

このコースはJR恵み野駅から道と川の駅「花ロード恵庭」までの約5kmのルートです。コース名のとおりガーデニングで有名な恵み野エリアの住宅街から始まります。季節ごとに庭の草花を存分に楽しみながら歩けます。住宅街と田園地帯の境界付近には恵庭市郷土資料館があります。ここで郷土の歴史を知ることができます。漁川へ入ると周辺の山々や秋にはサケの遡上などを楽しみながら歩けます。アーバン（都市部の）とフォレスト（自然）エリアのどちらも一度に楽しむことができるルート設定が魅力的です。



サケの遡上も間近で見ることができる





【^{もいり}茂漁川・カワセミコース】

このコースは道と川の駅からえこりん村までの約6kmのルートです。コース名になっている茂漁川がルートの約8割となるコースですが、歩く人を飽きさせることのない風景を楽しむことが可能です。河川には清流に育つ水草・バイカモやカワセミなどの野鳥、秋にはサケの遡上などさまざまな要素を楽しむことができる魅力いっぱいのコースです。終点のえこりん村では「銀河庭園」などの大規模庭園も楽しむことができ、レストランもあるので食事もとれます。

【恵庭公園・長都川コース】

このコースはえこりん村またはJR恵庭駅からJRサッポロビール庭園駅までの約11kmのルートです。個人的には一押しルートで、田園地帯と自然エリアを存分に堪能できるコースになっています。特にルート上のあぜ道は本場英国のフットパスを思い起こさせる風景で農家レストランもあります。森林も多く新緑から紅葉まで存分に楽しむことができます。終点はサッポロビール庭園なので工場見学&試飲も可能です（要予約）。10km越えと長いルートですが、自然や風景を楽しみ、最後にビールも飲めるのであれば辛くはないでしょう。

【^{えきてい}歴史を歩く『旧島松駅通とクラーク博士』コース】

このコースはJR島松駅周回の約11kmのルートです。島松の田園風景と旧島松駅通やチャシ跡など歴史や文化も味わえます。江戸時代後期はこの島松川が東西蝦夷地の国境になっていて、西蝦夷は松前藩が、東蝦夷は幕府の直轄地になっていました。またクラーク博士の「Boys, be ambitious」の名言が生まれた場所でもあり、当時の歴史に思いをはせながら歩ける壮大なルートです。



旧島松駅通もコースに組み込まれている

【柏木川と田園地帯を歩くコース】

このコースもJR島松駅を周回する約7.5kmのルートです。その名のとおり恵庭市島松の田園地帯と柏木川からなっているコースです。ちょうど折り返し地点には余湖農園があり、減農薬の野菜や加工品を買うこともできる上、バーベキューランチも食べることが可能です。ピザや豆腐作りなどの体験もできるので子どもたちと歩いても楽しむことができます。

また今年9月8日(土)、9日(日)には「第28回全道フットパスの集いinえにわ」が同市では初めて開催されます。初日には「恵庭公園・長都川コース」を主体とした特設の2つのルートを歩ける上、フットパスの講演、道内各地域のフットパスの紹介、そしてサッポロビール庭園ヴァルハラにて交流会を行うので、フットパス愛好家同士の交流も深めることができます。翌日は「花のまち『恵み野』・漁川コース」と「歴史を歩く『旧島松駅通とクラーク博士』コース」の2つに分かれて歩きます。申し込みは8月24日(金)まで行っています（えにわフットパス愛好会TEL：0123-32-8092まで）。同会では歩くイベントも行っており、一緒にフットパスを楽しむ、歩く、作るための会員も募集しています。

紹介した5つのコースの内、最初の3つのルートはつながりのあるミドルパス（中距離フットパス）になり、島松の2つのルートは八の字のサーキュラーパス（周回フットパス）にもなるので、数日間歩くのを楽しむことができます。そして前述したとおり、札幌や千歳からも近いので札幌や道外からもアクセスがよく、平地がほとんどで難易度が低いため初心者でも楽しむことができるのも恵庭のフットパスの特徴です。大都市や空港からアクセスしやすい北海道の魅力が凝縮された恵庭市のフットパスは今後ますます人気になるでしょう。



歩いた後はサッポロビール工場で見学と試飲を楽しむこともできる